

演題:「関節リウマチ患者が播種性帯状疱疹を発症、治療後も炎症反応遷延し
難渋している一例」

名瀬徳洲会病院 初期研修医
湘南藤沢徳洲会病院二年次 山崎 康臣

抄録

関節リウマチで治療中の 77 歳男性。

播種性帯状疱疹を発症。治療経過は順調に推移したものの、解熱と発熱を繰り返し、また炎症反応の値も高値を持続。さらに感染症も併発し治療に難渋している症例について報告させていただく。